



犬用 関節サポートは、関節炎の犬に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、グルコサミン、コンドロイチン硫酸およびω3系不飽和脂肪酸などを含む緑イ貝粉末(低温乾燥処理)を原料に使用しています。

この食事療法食の対象



● 変形性関節症および関節炎

変形性関節症や関節炎を起こしている犬では、軟骨や滑液の構成成分となるグルコサミンやコンドロイチン硫酸を補うことが推奨されます。ω3系不飽和脂肪酸(EPA、DHA)を豊富に含む緑イ貝と魚油を原材料に使用し関節炎に配慮しています。関節に負担となる体重過多を考慮してカロリー密度を調整しています。



● 銅蓄積性肝疾患および高アンモニア血症を除く肝疾患

肝臓の健康維持のための栄養成分、亜鉛や抗活性酸素物質を豊富に配合しています。



● 初期の心疾患

心臓の健康維持のための栄養成分(アルギニン、タウリン、EPA、DHA、ビタミンC、ビタミンEなど)を配合しています。心疾患の犬には食事中的ナトリウムの量を制限することが必要といわれていますが、近年、初期からの厳しいナトリウム制限はかえって悪影響を及ぼすことが分かっています。このため、初期の心疾患では中程度のナトリウム制限が推奨されます。



● 初期の腎臓病

腎臓の健康を維持するため、リンの含有量を制限*しています。腎臓病の犬には食事中的リンの含有量を制限することが重要ですが、初期の腎臓病で尿毒症の兆候がみられない場合はタンバクの制限は必要ありません。

● 中・高齢犬の健康維持

*継続して使用する場合は定期的な診察を奨励しています。

成分	単位/400kcal
タンパク質	26.6g
脂肪	12.8g ↓
食物繊維	8.7g
灰分	5.2g
水分	10.1g
炭水化物	48.8g
カルシウム	1.0g
カリウム	0.85g
リン*	0.55g ↓
マグネシウム	0.07g
鉄	15.02mg
銅	1.60mg
亜鉛	21.62mg ↑
ナトリウム	0.21g ↓
EPA+DHA	586mg ↑
L-カルニチン	—
タウリン	0.21g ↑
アルギニン	1.46g ↑
ビタミンE	53.2mg ↑
ビタミンC	21.30mg ↑
ビタミンB群	10.37mg

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化



規格：1kg・3kg・8kg

代謝エネルギー ... 376kcal/100g

1日の給与量の目安 1カップ=200cc

成犬の体重 (kg)	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	30	40
標準	50g 0.7カップ	85g 1.2カップ	115g 1.6カップ	145g 2.0カップ	170g 2.4カップ	195g 2.7カップ	215g 3.0カップ	240g 3.3カップ	260g 3.6カップ	280g 3.9カップ	380g 5.3カップ	465g 6.5カップ
調整範囲	最大 65g 0.9カップ	最大 105g 1.5カップ	最大 140g 1.9カップ	最大 175g 2.4カップ	最大 205g 2.8カップ	最大 235g 3.3カップ	最大 260g 3.6カップ	最大 285g 4.0カップ	最大 315g 4.4カップ	最大 340g 4.7カップ	最大 455g 6.3カップ	最大 560g 7.8カップ
	最小 40g 0.6カップ	最小 70g 1.0カップ	最小 95g 1.3カップ	最小 115g 1.6カップ	最小 135g 1.9カップ	最小 155g 2.2カップ	最小 175g 2.4カップ	最小 190g 2.6カップ	最小 210g 2.9カップ	最小 225g 3.1カップ	最小 305g 4.2カップ	最小 375g 5.2カップ

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて最大値と最小値の範囲内にて調整を行ってください。



原寸大

使用が推奨されない病態等

● 妊娠/授乳期、成長期

カルシウム、リン、ナトリウムの含有量が不足するため推奨されません。

原材料

米、コーンフラワー、家禽*肉、コーン、コーングルテン、動物性油脂、加水分解動物性タンパク、ビートパルプ、超高消化性小麦タンパク(消化率99%)、セルロース、魚油、大豆油、緑イ貝(低温乾燥)、加水分解甲殻類(グルコサミン源)、マリーゴールドエキス(ルテイン源)、加水分解軟骨(コンドロイチン源)、アミノ酸類(L-リジン、タウリン)、ミネラル類(K、Cl、Ca、Zn、Mn、Fe、Cu、I、Se)、ビタミン類(コリン、E、C、パントテン酸カルシウム、B6、ナイアシン、葉酸、A、B1、B2、ビオチン、B12、D3)、保存料(ソルビン酸カリウム)、酸化防止剤(BHA、没食子酸プロピル) *2 鶏・七面鳥

*調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

追加情報

- 関節疾患時の食事管理は、少なくとも6~8週間以上継続することが推奨されます。
- 進行した心疾患の場合には、「犬用 心臓サポート2 (ドライタイプ、ウェットタイプ)」があります。
- 進行した慢性腎臓病には、「犬用 腎臓サポート(ドライタイプ、ウェットタイプ)」があります。
- 銅蓄積性肝疾患および高アンモニア血症がみられる肝疾患には、「犬用 肝臓サポート(ドライタイプ、ウェットタイプ)」があります。

- この食事は、多くの場合生涯にわたる給与が必要となります。
- 緑イ貝を原料に使用した、「犬用 緑イ貝・タブ」もあります。
- 成犬の栄養要求を満たしています。
- 本製品の各適応に対して選択いただける他のパラエティについては、「疾病からみる適応表(P.7、P.8)」をご覧ください。